



こんな議会であってほしい

議員の定数や報酬を話し合う中で、地域の課題や議会への要望をお聞きすることができました。
コロナ禍で開催することができなかった語ろう会でしたが、議会と住民が対話することの大切さを改めて再確認することができました

休日・夜間議会ができればなり手不足の解消になるのではないか

メディアへの掲載など広報の活性化により議会への関心は高まっていると思う

どの議員も基幹産業である農業に目を向けて、勉強してほしい

女性議員を増やしたい

多様化する社会ニーズに対応してほしい

皆さんの声

地域の課題を国や道に届けてほしい

充職を減らすことが必要ではないか

フットワークを軽くして、日常的に町民の話を聞いてほしい

地域で困っていることをもっと聞いてほしい

地域の課題を上川管内の議会と連携して解決してほしい

9月定例会は

9月14日(水)~16日(金)

皆さんのご意見を参考に 9月定例会で議員定数と 報酬の結論を出します！

- 9月定例会は3日間の日程で開催予定です。ぜひ傍聴にお越しください。
- 特別委員会の答申は最終日に行う予定です。
- 議事の進行状況により、日程が変更となる場合があります。
- 決算審査では令和3年度の事業成果を検証・評価します。
- 一般質問の通信簿も実施いたします。傍聴者の皆様も参加できる取り組みです。テーマ設定や説得力などを5段階で評価しています。

鷹栖町議会公式 Twitter

はじめました

議会の動きや当日の進行状況も随時UPしています。



これまでの議会のうごき

| | |
|--------|--|
| 令和2年2月 | 「町議会選挙は無投票ではダメなのか？」をテーマに地域を語ろう会を実施。意識調査を開始 |
| 令和3年6月 | パブリックコメント実施 回答8件 オンライン語ろう会実施。参加者0名 |
| 11月 | 議論のたたき台となる定数と報酬に関する最終報告を確定 最終報告は議員協議会を計10回開催し作成しました |
| 12月 | 6名の議員で構成される議員定数等調査特別委員会を設置 これまでに委員会を11回実施 |
| 令和4年1月 | 町民アンケートを実施（令和4年8月まで187件回収） |
| 3月 | 議員活動の見える化を目的に活動時間を計測 |

鷹栖町議会では定数や報酬について、議会として十分な活動をするためにはどうあるべきか、検討してきました。2年ぶりとなる地域を語ろう会はテーマを「適正な議員定数と報酬を考える」とし、多くのご意見を頂戴することができました。

語ろう会で議会の活動報告としてご覧いただいた動画資料です。



地域を語ろう会はいつでも開催します。お近くの議員または議会事務局までお問い合わせください。（少人数のグループも可。）

お問い合わせ ☎ 0166-74-3660

鷹栖町議会事務局 gikai@town.takasu.lg.jp



地域を語ろう会2022

5地区で開催！47名の方にご参加いただきました！

令和4年9月5日発行



定数と報酬

ご意見ありがとうございます

語ろう会では小グループに分かれ、アンケートの集計結果や、議員全員で考えた報告（たたき台）をもとに参加者の皆さんに議論していただきました。

たたき台はこちら 

もっとくわしく！

最終報告はこちらから
ご覧いただけます
※令和3年11月作成



町民アンケート集計 (2022年5月) ※現在アンケートは終了しています



※7月語ろう会終了時点では
維持すべき 56%・減らすべき 44%

定数 → 現状維持

議会の役割である「適正な審議」には議員間討論が必要です。多様性のある議論でなければなりません。また、地区から選出される議員の必要性や常任委員会の必要最低人数を考慮し、議員定数は現行の12人を維持することが望ましいと考えます



※7月語ろう会終了時点では
維持すべき 52%・増やすべき 48%

報酬 → 現状維持

議会活動は従来よりも多様化し、活動量も増加しています。議員のなり手対策や議会力アップのためには議員報酬20万円以上が望ましいと考えます。しかし、そのためには今後公務外時間も含めた議員活動の見える化が必要です。

北成地区

7月7日 8名



🏠 ONLINE
おうちで語ろう会

7月9日 1名

北野地区

7月12日 12名



語ろう会の様子を比布町議会の皆さんが見学されました

鷹栖地区

7月13日 14名



中央地区

6月29日 6名



北斗地区

7月5日 6名



定数と報酬、皆さんはこう考えた

定数 KEEP

- 課題が多様化する中、町民の意見を聞く必要があり、一生懸命仕事をしてくれるなら
- 選挙のために減らすのは疑問
- 選挙がないのは住民の問題でもある
- 減らした場合、議員の仕事がこなせるのか疑問
- 定数減が課題解決や町の活性化にならない
- 農村地区の議員は必要
- 2つの常任委員会では今の人数が必要

定数 DOWN

- 基幹産業である農業者の声が届いてない
- 議員が地区のまとめ役になれていない
- 3期連続無投票、選挙のために減らすべき
- 選挙の時のみの付き合いになっている
- 議員の仕事がまちづくりに反映されていない
- 12名は上川の他町と比べても多いのでは
- 人口が減っているので減

報酬 KEEP

- 町民の所得が減っている中、増額するべきではない
- 現在の議員報酬を知らない町民もいる。報酬を上げるのは時期尚早
- 報酬を少し上げて議員のなり手不足にはならないのでは

報酬 UP

- 予算措置が確保されれば報酬増額
- 特に若い人が專業できる報酬が必要
- 町の議決機関が新卒の給料よりも低いのは理解し難い
- 仕事量によってポイント制にしてはどうか